



世界に通用する生産技術者のパスポート

CMfgT / CMfgE

CMfgT (Certified Manufacturing Technologist)

CMfgE (Certified Manufacturing Engineer)

2025年度

SME 国際認定生産技術者資格試験のご案内

- ・ 資格試験実施について
- ・ レビューコースについて
(受験のための準備コース)

SMEとは

SME (Society of Manufacturing Engineers) は生産技術分野での科学的知識の向上をめざして1932年に創設された非営利団体で、現在では世界70カ国に300以上の支部と250以上の学生支部を持ち、数万人の会員を擁しています。日本においても1962年に支部が設立され2017年に創立55周年を迎えました。

SME 日本支部の詳細 → http://www.sme-japan.org/sub1-1_j.html

SME 本部の詳細 → <http://www.sme.org/>

SME は生産(製造)技術の分野で活動していますが、この資格認定制度は1972年から始まり、現在までに3万6千人以上の有資格者を輩出しています。日本では1994年から本格的に実施し、現在まで1,802人の合格者が出ています。

有資格者の推移 → http://www.sme-japan.org/yuushikakuSuii_j.html

SMEの認定する資格の種類

毎年、SME 本部が認定する資格試験を米国と同様に英語で実施しています。日本で実施している試験の資格とはCMfgT、CMfgEでありそれぞれは下記の通りです。

CMfgT (Certified Manufacturing Technologist)

技術者として要求される幅広い知識を問うもので機械、電気はもとより、品質管理、経営工学、安全衛生までも出題範囲とした約130問で3時間の四択試験です。

いわば技術者の登竜門とでもいうべきものです。実務もしくは教育期間が4年以上で受験可能ですので新入社員教育の一環として、あるいは社員のモチベーション向上に企業として採用されつつあります。学生の方は、高専の5年生は受験の機会があります。また、工業高校出身でない大学4年生も、卒業時に資格を付与することで、受験可能です。

CMfgE (Certified Manufacturing Engineer)

試験の出題範囲は、上記のCMfgTと同様ですが、出題の比率、レベルが異なります。CMfgTより出題数が多く、約180問で4時間の四択試験です。教育期間4年を含めて8年以上の経験者を対象にした試験であり幅広い知識に立脚した専門技術者としての資格を認定するものです。CMfgTの資格取得者の場合は教育期間を含めて7年以上となりました。

資格取得のメリット

この資格は、海外で広く認知されており、一定のレベルの専門生産技術者として評価されています。また、海外での就職や就労ビザの取得にも有利とされています。

この試験は英語で実施のため、技術の知識のみならず、技術英語の習得にも役立ちます。

“SME 国際認定生産エンジニア “ Certification を取得するメリット；

<http://sme-japan.org/shikakumerit.pdf>

資格試験実施のご案内

→ http://www.sme-japan.org/shikakushiken-annai_2025.pdf

受験者用レビューコースのご案内

→ http://www.sme-japan.org/rebyukousu-gpannai_2025.pdf

<ご参考>

CMfgT 試験問題の例

→ <http://www.sme-japan.org/shikennmonndai.pdf>

"Fundamentals of Manufacturing 3rd Edition"(SMEの教科書、3rd Editionになりました)は、受験者用レビューコースで配布されますが、レビューコースを受講されない方で必要な方はご購入いただけます。

また、追加の教材としてワークブック(問題集)もあります。

詳細はホームページをご参照下さい。

→ http://www.sme-japan.org/sub4-6_j.html

入会いただくと受験料・受講料が割引となります。

入会案内は → http://www.sme-japan.org/sub2-3_j.html